

— 結成10周年第11回総会講演会のご案内 —

<講演テーマ>

「TPPの真の狙いを語る」

— 協定先取りの種子法廃止問題を踏まえて —

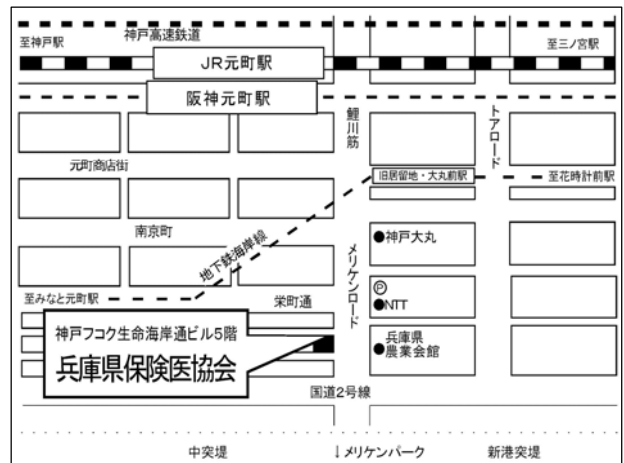
<講師> 元農林水産大臣・弁護士 **山田 正彦氏**

日時: **2月10日(土)午後4時~**

※午後3時40分~4時まで懇話会総会議事を予定しています。

会場: **保険医協会会議室**

昨年、TPP協定の署名式が行われた時に交わされた、日米並行協議に基づく日米交換文書には「日本政府は米国の投資家の要望を聴取して、各省庁に検討させ、必要なものを規制改革会議に付託して、規制改革会議の提言に従って必要な措置をとる」あります。これに従って国内法の改廃を強引に進めているのです。いずれ、医療保険制度、残留農薬基準、薬価制度などについても具体化してくるのではないのでしょうか。また、今年11月にはTPP11大筋合意と大々的に報道されましたが、その中身については未だはっきりしていません。しかし、主要農作物種子法の廃止法案が今年の国会で可決・成立し、平成30年4月1日に廃止されることになりました。TPPで多国籍企業が最も利益を見込める分野は「知的財産権」と言われてきましたが、その最大の狙いは「種子」だったのではないかと考えています。詳しくは講演にてお話させていただきます。(山田)



山田氏ご略歴: 早稲田大学卒業後、故郷の長崎県五島で牧場経営を経て、弁護士に。1993年新生党公認で衆議院議員に初当選。民主党菅直人内閣で農林水産大臣。超党派の議員連盟「TPPを慎重に考える会」会長もつとめた。

呼びかけ団体: 兵庫県知的障害者施設利用者互助会・兵庫県勤労者山岳連盟・兵庫県民主医療機関連合会・兵庫県保険医協会・兵庫県商工団体連合会・兵庫県労働組合総連合・兵庫県労働共済会・全教兵庫教職員共済会

(切り取らずに送信ください)

【FAX返信】(参加申込) 078-393-1802 宛

兵庫県保険医協会共済部 行

●2月10日(土)「自主共済懇話会講演会」に、

出席します 約 () 人

※資料準備の都合上、おおよその参加人数をお知らせください。

団体名、または、お住まいの地区名

お名前